

10年を迎えたKTHキューブと **fi** 情報的正義の実現



研究会参加費・申込み 不要

2016年 **2月26日** (金)
14:00-18:00

立命館大学
大阪いばらきキャンパス
B棟 4階 研究会室1

〒567-8570 大阪府茨木市 岩倉町2-150
(JR茨木駅 東口より徒歩約10分)

プログラム

第一部・KTHの基本

1. K: KACHINA 齋藤進也 (立命館大学)
2. T: TEM サトウタツヤ (立命館大学)
3. H: HAMADA式 供述分析
浜田寿美男 (立命館大学)
4. 福岡事件でみるKTHの基本
山田早紀 (立命館大学)
5. 法のなかのKTH 岡田悦典 (南山大学)

第二部・KTHの最新の進歩

6. KTHの技術革新 齋藤進也 (同上)
 7. 冤罪救済・再審とKTH 山田早紀 (同上)
 8. ウェブ情報とKTH 上村晃弘 (立命館大学)
- (休憩)

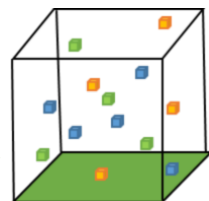
第三部・情報的正義のための文書・文章・単語処理

9. 情報的正義の基本理念 指宿 信 (成城大学)
10. テキストマイニングと法情報学
稲葉光行 (立命館大学)
11. 可視化の陥穽と情報的不正義
若林宏輔 (立命館大学)

第四部・ディスカッション

12. 情報的正義に基づく法情報学の確立
サトウタツヤ (同上)
13. 総合ディスカッション

※ 終了後、会場近くで情報交換会(懇親会)を予定
しています。みなさまのご参加、お待ちしております



*KTHは、Kachina, Tem, Hamadaの頭文字を組み合わせたもので、三次元キューブをもちいた白分析ツールです

【主催】

文部科学省科学研究費補助金(新学術領域)【法と人間科学】
「三次元地層モデリングを用いた供述過程の可視化システムの構築」(代表:サトウタツヤ・立命館大学)
立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)
「文理融合による法心理・司法臨床研究拠点(法心理・司法臨床センター)」